

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 16 日 (2012.8.16)

【公表番号】特表 2011-526636 (P2011-526636A)

【公表日】平成 23 年 10 月 13 日 (2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2011-041

【出願番号】特願 2011-515453 (P2011-515453)

【国際特許分類】

C 0 9 B 35/18 (2006.01)

D 0 6 P 1/39 (2006.01)

D 0 6 P 3/16 (2006.01)

D 0 6 P 3/06 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

C 0 7 D 213/76 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 35/18 C L A

D 0 6 P 1/39

D 0 6 P 3/16

D 0 6 P 3/06

C 0 9 D 11/00

C 0 7 D 213/76 C S P

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 29 日 (2012.6.29)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 4】

R⁰ が、メチル基を示し、

R¹ が、-CH₂-SO₃H 又は -CN を示し、

R² が、メチル基又はエチル基を示し、

R³ が、H、メチル基、メトキシ基、又はスルホ基を示し、

R⁴ が、H、メチル基又はメトキシ基を示し、

B が、式 -CR⁵R⁶- を有する基（式中、

R⁵ が、H、メチル基又はエチル基を示し、

R⁶ が、置換されていない C₁ ~ C₄ アルキル基、置換されていないアリール基又は置換されたアリール基を示すか、あるいは、R⁵ と R⁶ とは一緒になって 6 員の環状脂肪族環を形成し、その際、6 員の環がそれ以上置換されていない。）を示す、

ことを特徴とする、請求項 3 に記載の化合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

上記の式(I)の化合物中の少なくとも1つのアニオン性置換基は、 R^1 及び/又は R^3 のうちのいずれか一方に好ましく位置する。より好ましくは、少なくとも1つのアニオン性置換基は置換基 R^2 のいずれか一方に位置する。これは、置換基のうちの一つに好ましく位置するこの置換基がアニオン性の基であることも意味する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

上記の一般式(I)のさらにより好ましい化合物において、

R^0 は、メチル基を示し、

R^1 は、 $-CH_2-SO_3H$ 又は $-CN$ を示し、

R^2 は、メチル基又はエチル基を示し、

R^3 は、H、メチル基、メトキシ基、又はスルホ基を示し、

R^4 は、H、メチル基又はメトキシ基を示し、

Bは、式 $-CR^5R^6-$ を有する基(式中、

R^5 は、H、メチル基又はエチル基を示し、

R^6 は、置換されていない $C_1 \sim C_4$ アルキル基、置換されていないアリール基又は置換されたアリール基を示すか、あるいは、 R^5 と R^6 とが一緒になって6員の環状脂肪族環を形成し、その際、6員の環はそれ以上置換されていない。)を示す。)

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

この染料を、塩化ナトリウムで塩析することによって単離し、ろ別し、そして低減された圧力で50℃で乾燥させることができるか、あるいは、一方、この反応混合物を、生成物を単離せずに直接染色に使用できる。これにより、ウール、及び特にポリアミド繊維に対して、非常に良好な光及び湿潤堅牢特性を有する黄色染色物(ラムダ(max)(λ_{max}) = 445 nm)がもたらされる。